

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	17-文研-1
-----------------	---------

平成17年度配分 研究成果の概要

研究名	地域産業の生成と集積に関する調査研究				
配分を受けた特別研究費	文化政策研究科長特別研究 1,609 千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の場合の分担
	大学院 (文化政策)	文化政策研究科 (文化政策)	教授	坂本光司	研究総括
共同研究者	福井県立 大学	地域経済研究所	助教授	南保勝	福井産業の執筆
	本大学院	文化政策研究科	修士 学生	小泊重洋	茶産業の執筆
	〃	〃	〃	富田晋司	新潟産業の執筆
	〃	〃	〃	松本晃	サンダル産業の執筆
	〃	〃	〃	山崎奈玲子	プラモデル産業の執筆
	〃	〃	〃	その他3名(外部)	
発表の方法 (予定で可)	1 紀要			号数	第 号 (年 月発行)
	2 学会等での発表 学会等名: アジア・太平洋学術フォーラム 「地域産業とアジア」分科会パネラー			発表日 (発表 予定日)	平成17年12月2日
	3 その他 発表の方法: 地域産業発達史(同友館)出版 文化芸術大学産学交流フォーラムで発表 韓国訪問学生とのレクチャー、他			発表日 (発表 予定日)	平成17年8月 平成18年2月3日 平成17年8月31日

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

国際分業の進展・拡大と開業の不足・廃業の増大により、地域産業の空洞化が危惧されている。地域の空洞化を阻止し、地域の活力を維持・強化していくためには、国際的比較優位の新産業の輩出と集積が必要不可欠である。

国際的比較優位の新産業の生成を活発化させ、集積を充実強化していく 1 つの方法は、歴史を紐解くことである。

というのは、今日よりはるか劣悪な過去、産地と呼ばれる地域においては、続々と新産業が誕生し、集積が形成されたからである。本研究においては、地域産業の集積のモデルといわれる 4 地域(浜松地域、静岡地域、福井地域、新潟地域)にスポットをあて、そのメカニズムを明らかにすることにある。

(研究の実施方法等)

研究の方法は、本学大学院文化政策研究科の有志学生 5 名他、外部から 3 名の研究者、そして研究主査である筆者がチームを編成し、分担し、研究執筆した。

研究方法は、主として文献研究と担当地域への現地ヒヤリング調査、さらにはメンバー全員での討論を行い実施した。

なお、本学関係者とは、本年 3 月、修士を修了した「小泊重洋氏」「富田晋司氏」「松本晃氏」「山崎奈玲子氏」「野村佳代氏」である。

(得られた成果等)

- (1) 新産業誕生のメカニズムを明らかにすることができた(書物参照)
- (2) 研究成果を学会やセミナー等で、約 10 回県内外で発表し、大学のPRに努めた
- (3) 研究成果は平成 17 年 8 月に「地域産業発達史」というタイトルの書物として同友館から全国書店で販売され、大学のPRに役立った
- (4) 執筆者 9 名中本学大学院の現役学生 5 名が参加した書物として全国販売され、本学大学院の知名度を高めた
- (5) 本学大学院生のモチベーションを少なからず高めた